

6 市場事業

(1) 事業数

平成25年度における市場事業の事業数は、下記の7事業9施設で、いずれも法非適用事業であり、地方卸売市場気仙沼市青果市場の廃止により前年度に比べ1施設減少している。

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (6事業7施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
	南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)

(2) 施設の利用状況

年間取扱高は47万543tで、前年度に比べ1万5,433t(3.4%)増加している。その内訳は、青果物が21万4,392t、水産物が23万3,649t、食肉・鶏卵・その他が2万2,502tとなっている。前年度に比べ青果物が6,655t(3.2%)、水産物が9,692t(4.3%)それぞれ増加し、食肉・鶏卵・その他が914t(3.9%)減少している。

年間売上高は1,883億16百万円で、前年度に比べ94億19百万円(5.3%)増加している。その内訳は、青果物が495億21百万円、水産物が1,116億17百万円、食肉・鶏卵・その他が271億78百万円で、前年度に比べ青果物が27億1百万円(5.8%)、水産物が44億15百万円(4.1%)、食肉・鶏卵・その他が23億3百万円(9.3%)それぞれ増加している。

また、市場関係業者数は卸売業者15社、仲卸業者46社、売買参加人が1,645人、関連事業者が47人となっており、前年度に比べ売買参加人が40人減少している。

第1表 利用状況の推移

年 度		21		22		23		24		25		対前年度比較	
		21	構成比 (%)	22	構成比 (%)	23	構成比 (%)	24	構成比 (%)	25	構成比 (%)	b - a	(c/a)
項 目								a	b			c	×100(%)
取 扱 高 (t)	青 果 物	219,652	33.0	200,336	31.8	207,589	52.9	207,737	45.6	214,392	45.6	6,655	3.2
	水 産 物	419,095	62.9	402,436	63.9	168,588	42.9	223,957	49.2	233,649	49.7	9,692	4.3
	食肉・鶏卵・その他	27,640	4.1	27,287	4.3	16,426	4.2	23,416	5.1	22,502	4.8	▲914	▲3.9
	計	666,387	100.0	630,059	100.0	392,603	100.0	455,110	99.9	470,543	100.1	15,433	3.4
売 上 高 (百万円)	青 果 物	47,353	23.7	48,466	23.7	47,756	29.8	46,820	26.2	49,521	26.3	2,701	5.8
	水 産 物	124,004	62.2	128,811	62.9	93,054	58.1	107,202	59.9	111,617	59.3	4,415	4.1
	食肉・鶏卵・その他	28,111	14.1	27,475	13.4	19,407	12.1	24,875	13.9	27,178	14.4	2,303	9.3
	計	199,468	100.0	204,752	100.0	160,217	100.0	178,897	100.0	188,316	100.0	9,419	5.3
業 者 数	卸 売 業 者 (社)	18	—	17	—	16	—	15	—	15	—	0	0.0
	仲 卸 売 業 者 (社)	46	—	46	—	46	—	46	—	46	—	0	0.0
	売 買 参 加 人 (人)	2,075	—	2,056	—	1,810	—	1,685	—	1,645	—	▲40	▲2.4
	関 連 事 業 者 (人)	45	—	45	—	45	—	47	—	47	—	0	0.0

(注) 青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」をいう。

(3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は25億23百万円で、前年度に比べ63百万円(2.4%)減少しており、総費用は18億95百万円で、前年度に比べ61百万円(3.1%)減少している。この結果、収支差引では6億27百万円の黒字となり、前年度に比べ2百万円(0.4%)減少している。

また、資本的収支における収入は33億80百万円で、前年度に比べ6億60百万円(24.3%)増加しており、支出は41億98百万円で、前年度に比べ4億4百万円(10.6%)増加している。この結果、収支差引では8億18百万円の赤字となり、前年度に比べ2億56百万円(23.9%)減少している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は1億91百万円の赤字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は8百万円の黒字となり、前年度に比べ18百万円(67.9%)減少している。

なお、収益的収支比率は87.8%で、前年度に比べ12.3ポイント上昇している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度	21	22	23	24	25	対前年度比較	
								a	b
収 益 的 収 入	総 収 益 A	2,670	2,647	2,331	2,586	2,523	▲63	▲2.4	
	営 業 収 益	1,802	1,807	919	1,574	1,686	112	7.1	
	う ち 料 金 収 入	1,784	1,791	904	1,560	1,672	113	7.2	
	う ち 受 託 工 事 収 益	0	0	0	0	0	0	—	
	う ち そ の 他	18	16	15	15	13	▲1	▲8.7	
	営 業 外 収 益	869	840	1,411	1,012	837	▲175	▲17.3	
	う ち 他 会 計 繰 入 金	508	451	1,053	535	300	▲236	▲44.0	
	総 費 用 B	2,277	2,201	1,967	1,956	1,895	▲61	▲3.1	
	営 業 費 用	1,863	1,859	1,634	1,657	1,639	▲19	▲1.1	
	う ち 職 員 給 与 費	414	403	386	369	352	▲17	▲4.7	
営 業 外 費 用	414	342	333	299	257	▲42	▲14.0		
う ち 支 払 利 息	342	320	296	271	241	▲31	▲11.3		
収 支 差 引 (A-B) C	393	446	363	630	627	▲2	▲0.4		
資 本 的 収 入	資 本 的 収 入 D	1,308	1,412	4,529	2,720	3,380	660	24.3	
	地 方 債	610	627	669	990	1,759	769	77.6	
	他 会 計 繰 入 金	583	669	2,318	561	471	▲91	▲16.1	
	工 事 負 担 金	0	0	1	0	0	0	—	
	国 ・ 県 補 助 金	111	76	1,405	1,167	1,151	▲16	▲1.4	
	そ の 他	5	40	136	2	0	▲2	皆減	
	資 本 的 支 出 E	1,710	1,857	4,247	3,795	4,198	404	10.6	
	建 設 改 良 費	788	846	2,838	2,291	3,208	917	40.0	
	地 方 債 償 還 金 e	910	990	1,187	1,471	979	▲492	▲33.4	
	そ の 他	13	20	222	32	11	▲21	▲66.2	
収 支 差 引 (D-E) F	▲402	▲444	282	▲1,074	▲818	256	▲23.9		
収 支 再 差 引 (C+F) G	▲8	2	645	▲445	▲191	254	▲57.1		
積 立 金 H	0	0	0	0	0	0	0.0		
前 年 度 か ら の 繰 越 金 I	21	13	14	659	215	▲445	▲67.5		
前 年 度 繰 上 充 用 金 J	0	0	0	0	0	0	—		
形 式 収 支 (G-H+I-J) K	13	14	659	235	24	▲212	▲90.0		
翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L	1	13	657	209	15	▲194	▲92.7		
実 質 収 支 (K-L)	11	1	2	26	8	▲18	▲67.9		
う ち 黒 字	11	1	2	26	8	▲18	▲67.9		
う ち 赤 字	0	0	0	0	0	0	—		
職 員 数	54	52	49	47	47	0	0.0		
収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)	83.8	82.9	73.9	75.5	87.8	12.3	—		